

大通り景観づくりの方針
～ 大通り景観形成ガイドライン ～
【概要版】

平成 21 年 3 月
大通り景観づくり検討会

ガイドラインの策定にあたって

- 目次 -

ガイドラインの策定にあたって	1
大通り全体の景観づくりの目標と方針	2
地区別景観づくりの目標と方針	3
1．宮の橋地区	3
2．大工町地区	4
3．馬場地区	5
4．池上町地区	6

1 ガイドラインを策定する目的

大通りは、二荒山神社の門前町として形成され、江戸時代に宇都宮城の城下町として現在の骨格が概ねつくられました。その後、明治時代に栃木県庁の移転とともに拡幅整備が進み、宇都宮市を代表する目抜き通りとして、中心市街地の顔となっています。

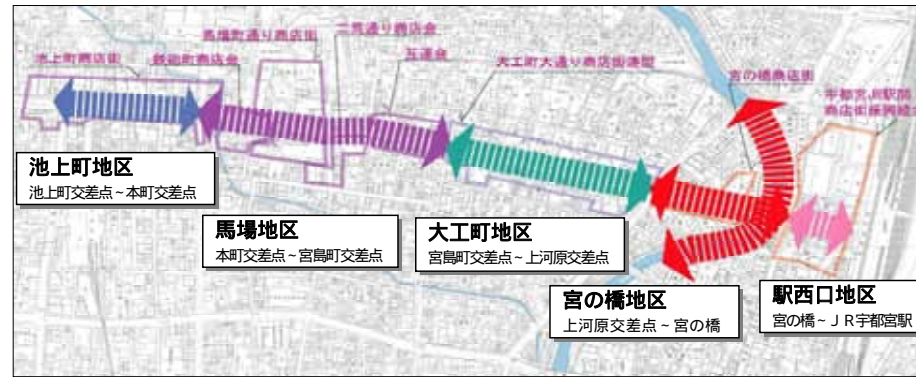
しかし、近年、郊外部での大型商業施設の開発等により、消費者が郊外部へと流れ、中心市街地の活力の低下が懸念されています。

そこで、大通りの魅力をさらに高め、中心市街地のさらなる活性化を目指すため、大通りの沿道の住民、商店街、事業者等の皆様とともに「大通り景観づくり検討会」を設立しました。

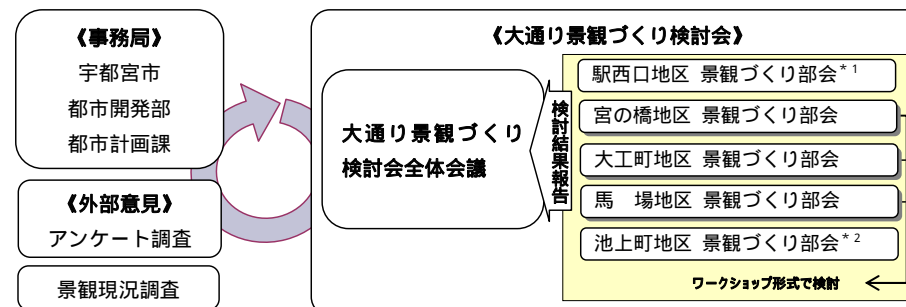
この検討会では、大通りの景観資源の再発見、景観づくりの課題等を皆様とともに話し合い、大通りの景観づくりの目標・方針をまとめた「大通り景観形成ガイドライン」を策定しました。

2 ガイドラインの策定体制

本ガイドラインは、沿道の商店街や自治会等の代表の方々に構成される、「大通り景観づくり検討会」および「地区別景観づくり部会」での検討結果をもとに、外部意見（アンケート調査）をふまえ、作成しました。



地区区分

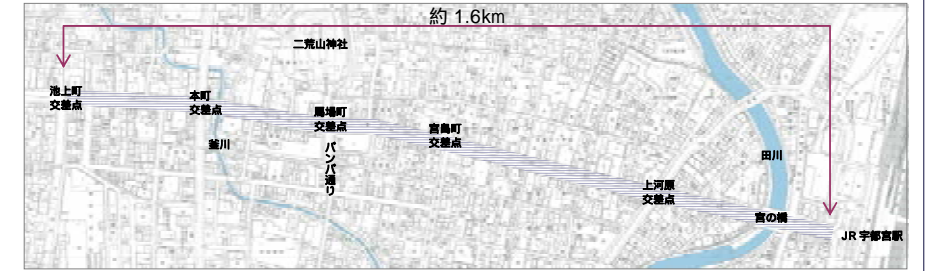


ガイドラインの策定体制

3 ガイドラインの適用範囲

「大通り」は、JR宇都宮駅から池上町交差点までの約1.6kmの区間とします。対象とする空間は、「大通り」の道路等の公共空間及び沿道の建築物等の外観等（私有地）です。

これらの空間で、埋もれている地域資源の発掘・活用や魅力あるまちなみの整備に向けたアイデアをハード整備とソフト整備の両面から検討しています。



4 ガイドラインの構成と使い方

(1) ガイドラインの構成

本ガイドラインは、「大通り全体の景観づくりの目標と方針」と「地区別景観づくりの目標と方針」の2部構成になっています。

本ガイドラインを使用する際は、まず、「地区別景観づくりの目標と方針」をふまえた上で、「大通り全体の景観づくりの目標と方針」にて、各地区ならではの目標、方針を確認していただく構成となっています。

大通り全体の景観づくりの目標と方針

地区別景観づくりの目標と方針

- 池上町地区
- 馬場地区
- 大工町地区
- 宮の橋地区



景観づくりイメージ
・現況写真に、景観づくりイメージを合成しています。

景観づくり方針
・景観づくりの方針を示しています。

(2) ガイドラインの使い方

大通り沿道の再開発や各所で行われる建築物等の更新の際に、本ガイドラインの内容をふまえ、事業計画、建築計画を立案します。

地域の皆様が大通りの景観づくりを検討する際に、本ガイドラインを出発点として、様々な取り組みへの参考とします。

大通り全体の景観づくりの目標と方針

1 宇都宮の顔にふさわしい、まとまり(絆)を持ち、「宇都宮」としての個性と魅力を備える「軸」を形成します。

ハード

公共施設や道路上の施設等については、デザイン等を統一します。

歩道舗装、道路
附属物のデザイン統一
緑の軸の形成
統一フラッグ掲出



宇都宮らしさを表す素材(「大谷石」)を活用します。

建築物等への
採用
植栽柵、モニュメントへの採用



二荒山神社、釜川などの宇都宮独自の景観資源を保全、活用します。

大通りからの眺望の向上。



餃子、ジャズ等、宇都宮ならではの取組みを大通り全体の景観づくりに活かします。

宇都宮らしさを表す取組みをデザインモチーフとする。



ソフト

大通り全体で景観づくりに参加するしくみを整備し、継続した取り組みを推進します。

大通り景観づくり協議会
大通り全体に関する長期的な課題等を、行政、事業者、住民の協働で検討、対応

大通り景観づくり専門部会
イベント等、特定テーマに関する検討会

大通り景観づくり地区別部会
地区別に短・中期的な課題を検討対応

大通り景観づくり地区別部会

地区

・自治会

・商店街

連携 ↓ ↑ 支援
行政(市、県)



大通り全体の景観づくりイメージ

2 宇都宮中心部のメインストリートとして、みどり豊かな歩いて楽しい、にぎわいのある街並みを形成します。

ハード

快適な歩行空間を形成します。

歩きやすい歩行空間創出
低層部壁面後退、ゆとり空間創出
アーケード機能代替、街路樹、花壇設置
占有物撤去、整理



低層部においては賑わいを演出するデザインを採用します。

ショーウィンドウ賑わいサービス施設配置
イルミネーション、ライトアップ等
夜間景観



3 大通りの歴史や文化を活かし、落ち着きと風格のある街並みを形成します。

ハード

歴史的資源の保全・活用により、風格のある街並みを形成します。

寺院等歴史的建造物の保全
大通りを軸とした資源巡りルート設定



洗練された建築物や歴史的建造物、商店等による、多様な街並みの調和を図ります。

壁面位置の調和中高層部への落ち着いた色彩採用
良好な屋外広告物景観



ソフト

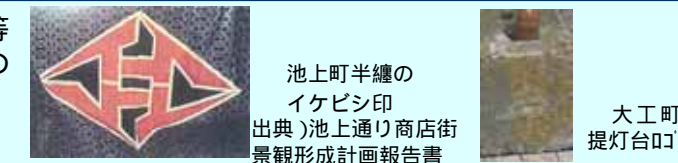
各地区のまつり等、伝統文化の継承、復活を図ります。

地区独自のまつりの継承、復活
まつりを契機として、まつりの舞台となる場における良好な景観づくり



地区の特徴を示すデザインコード(共通ロゴの採用等)を定めます。

フラッグや道路付属物等への地区独自ロゴ等の表現



ソフト

地域住民や事業者、行政が、共に緑を育みます。



店先、歩道の緑の維持管理

広場的空間を活用し、賑わいを創出します。

オープンカフェ等による賑わい創出
沿道各所の広場的空間のイベント活用



地域活動の情報発信やわかりやすい案内等、心豊かな景観を形成します。

バス停の掲示板を活用した地域情報の発信
事業所掲示板を活用した地域情報発信



地区別景観づくりの目標と方針

1 宮の橋地区の景観づくりの目標：大通りの歴史、市民の生活を感じる身近な街・宮の橋地区

1 大通りの歴史を映す、低層の街並みを保全します。

低層の店舗が建ち並ぶ高さを引継ぎ、JR 宇都宮駅からの人の流れを誘う、まとまりのある景観をつくります。

建築物の高さの調和
周辺景観と調和するまとまりのある色彩の採用



現状



統一フラッグ掲出



出典) レッティング ヨイ東京 H.P.



イベント時に統一フラッグ掲出

歴史的資源を守り活かします。

宝蔵寺(およりの鐘)、旅館藤江等の歴史的建造物の保全



宝蔵寺(およりの鐘)



旅館藤江

特徴ある店舗の紹介等によるまち歩きの促進



干瓢専門店



手芸専門店

宮の橋地区を思い起こさせるしかけをつくります。

初市など地区独自のまつりの活用
田川の花火や梵天祭り等、昔日のまつりの復活
旧町名の復活



初市



かつての舟遊び風景 *1



梵天まつり復活イメージ



旧町名表示イメージ

出典) ふるさと宮まつり開催委員会 H.P.

*1) 出典: 「昔日の宇都宮」(随想舎、1997)



宮の橋地区の景観づくりイメージ

3 田川沿いの開放的な景観を守り活かします。

田川の風情を感じる景観を守り、活かします。

うるおいのある
プロムナードの
形成



田川の芝桜



プロムナードでのテントによる憩いの空間イメージ



プロムナードの照明イメージ

出展: 徳島県 H.P.

橋や橋詰空間の活用



出展: 釜石市 H.P.

田川に面する壁面デザインの魅力向上



河川方向に開くデザインイメージ



大谷石の橋と調和する、大谷石外壁

4 景観づくり、まちづくり体制を整備します。

地域組織の連携体制を整えます。

自治会、商店街等による地域組織の体制づくり

まつりの復活等を契機とした景観づくり、まちづくりの開始

大通り景観づくり地区別部会 宮の橋地区(仮称)

連携 ↓ ↑ 支援

行政(市、県)

・自治会

・商店等

ふるさと宮まつりとの連携
昔の祭りの復活

イベント時にぎわい景観づくり

JR駅から人を誘う魅力ある景観づくり

2 市民の生活、親しみを感じる景観をつくります。

1階部はにぎわいのある街並みをつくります。

低層部に飲食店を配置するなど、賑わいの連続性の確保



低層店舗の街並み



身近な店舗の景観

店舗の照明、街灯による明るい夜間景観の形成



歩道街灯イメージ



夜間店舗からの光

店先に花を育みます。

四季を感じさせるうるおいのある景観の形成



店先のみどり



駐車場フェンス等を緑化します。

みどりによる街並みの連続性の確保



現状



フェンス緑化イメージ

地区、店舗に関する情報を積極的に発信します。

地区内共通デザインのサインによる、各店舗前での地区、店舗の歴史の紹介



店舗紹介サインイメージ
出展: www.jagworks.jp

1 見通し景観に風格を感じる景観を保全します。

中高層部の壁面の位置を整えます。

壁面位置の調和



中高層部の外壁は落ち着きのある色彩を採用します。

落ち着きのある色彩

中高層部は圧迫感を軽減する色彩を採用



良好な屋外広告物景観を形成します。

中高層部に掲示する屋外広告物の色彩の建築物との調和



袖看板を地上部集合看板へ統合



2 低層部に賑わい、親しみを感じる景観を形成します。（おもてなしの景観の形成）

1階部は賑わいの街並みを形成します。

賑わいを創出する機能の配置
ショーウィンドウの採用
店舗照明による明るい夜間景観



街路樹の連続性を確保します。

老朽アーケード機能代替
街路樹充実



広場状空間を創出し、活用します。

大通りイベント時に、サテライト会場として活用
オープンカフェの運営



地域活動に関する情報を積極的に発信します。

事業所と地域の連携による情報発信

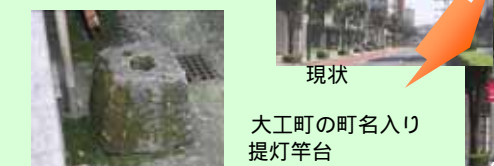


系統立てた情報の提供



統一フラッグを掲示します。

イベント時のフラッグの掲示



歩行空間の緑化を充実します。

歩道における花壇整備
フェンス等の緑化



店先等で緑を育成します。

四季を感じさせるうるおい創出



二荒山神社を核として、風格と賑わいのある景観を形成します



二荒山神社前の景観づくりイメージ

二荒山神社への参道的な区間における、秩序ある賑わい景観を形成します



二荒山神社への参道区間の景観づくりイメージ

1 二荒山神社前としての風格を保ちます。

建築物は落ち着きのある形態、色彩とします。
屋外広告物等を境内側に掲示しません。

落ち着きのある形態
落ち着きのある色彩
広場を挟む建物における境内側への屋外広告物、窓面広告の掲示抑制



落ち着きのある色彩、屋外広告物の無掲出

2 賑わいの中心を創出します

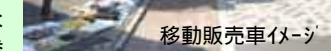
広場を活用します。

情報発信基盤整備
移動販売車等賑わい創出
広場を囲む開放的な店舗
多様な世代を対象とするイベントの展開



常に賑う広場イメージ

多様な世代参加イメージ(ハザー)



移動販売車イメージ



広場での栃木 SC 試合観戦イメージ

角地において魅力的な景観を創出します。

賑わいを増すデザインの採用



現状

賑わいを増す景観イメージ

屋外広告物のデザインを工夫します。

掲示面積の最小化、箱文字等の採用



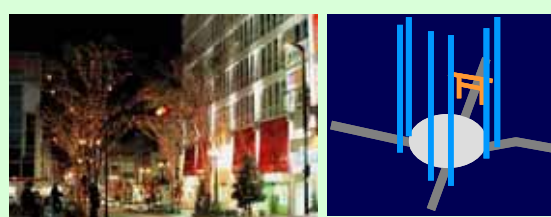
箱文字イメージ

現状

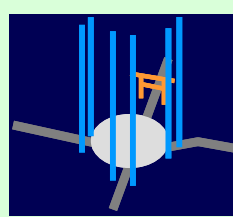
箱文字化イメージ

魅力的な夜間景観を形成します。

イルミネーション等の設置
拡大シンボリックなライトアップ



魅力的なイルミネーション



シンボリックなライトアップイメージ(交差点部にてゲートをイメージさせる上方へのサーチライト)

出典) <http://www.neo-w.co.jp>

3 見通し景観に秩序を感じる景観を保全します。

中高層部の壁面を整えます。
中高層部の外壁は落ち着いた色彩とします。

中高層部の壁面位置の調和
中高層部における落ち着いた色彩の採用



壁面位置の調和

現状

色彩調和イメージ

良好な屋外広告物景観を形成します。

中高層部に掲示する屋外広告物の色彩の建築物との調和



現状

袖看板の色彩調和イメージ(地色を白、文字色に地色採用)

屋外広告物のデザインを工夫します。

デザイン性の高い広告物の掲示



左 デザインされた屋外広告物(各階テナント紹介)

右 質の高い広告物掲示

4 低層部が賑わい、歩きたくなる景観を形成します。

1階部は賑わいを創出します。

再開発時の建物前空地の創出
老朽アーケード代替、街路樹充実
共同ビルのデザインの継承



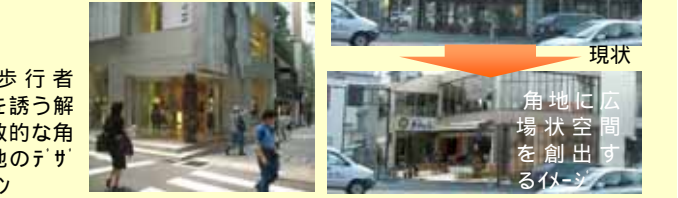
現状

再開発により、建物前空地を創出し、パラス等による賑わい創出イメージ

内部の賑わいを見せるデザイン

角地において、人を誘う空間を創出します。

交差点部におけるにぎわい空間創出



現状

歩行者を誘う解放的な角地のデザイン

角地に広場状空間を創出するイメージ

広場の空間を活用します。

オープンカフェ等の運営
憩い空間の創出



現状

オープンカフェイメージ

1 明るく歩きやすい歩行空間を形成します。

老朽化アーケードを、統一デザインのオーニングに代替します。

老朽アーケード
機能の代替
街路樹の連続
性の確保



現状



アーケード撤去、オーニング設置、街路樹植樹イメージ

店先に緑を育みます。

四季を感じさせる
緑、花の育成



店舗前みどり



店舗前みどり*1

照明を活用し、明るい夜間景観を形成します。

歩行空間の照明の充実



フライトイメージ



店舗内照明による明るい夜間景観イメージ

パブリックアートを配置します。

大谷石、諫鼓鶏等、池上地区のイメージをモチーフとするパブリックアート



イケビシ印*1



諫鼓鶏*1



池上町地区の景観づくりイメージ

3 大谷石など地場の素材と地元の技術を活用します。

大谷石など自然風合の外装材を採用します。

外装材への大谷石の採用



低層部大谷石採用



外壁大谷石採用



外壁大谷石採用

大谷石素材のストリートファニチャーを設置します。

大谷石のベンチ等の設置



大谷石ベンチ*1



大谷石ベンチ



大谷石(植枘)



通り名称表示サイン

4 誰もが快適に過せるユニバーサルデザインを導入します。

店舗等の出入口においてユニバーサルデザインを導入します。

出入口の段差解消等ユニバーサルデザインの採用



段差のない出入口



バリアフリー歩行空間イメージ*1

2 古き良き時代をしのばせる要素を新しい感覚で表現します。

ファサードにレトロ調デザインを採用します。

「懐かしさ」を感じるデザインの採用



店舗正面整備イメージ*1



レトロ調デザインファサード

和モダンデザインファサード

ヒューマンスケールを導入します。

低層部における人が馴染みやすいスケールのデザインの採用



歩行者を誘う低層部のファサード



低層部の人間尺度のデザイン

暖かみのある色彩を採用します。

低層部は暖色系の色彩採用



暖色系色彩

中高層部は落ち着いた色彩採用



落ち着いた色彩

魅力的な看板・広告物デザインを採用します。

懐かしさを感じるレトロ調等、魅力的なデザインの採用



サイン例*1